

審議会等の会議結果報告書

課所名

こども課 保育係

会議名 令和7年度 第2回諏訪市保育所専門委員会

開催日時 令和7年12月3日(水) 午後1時15分～2時50分

開催場所 諏訪市役所502会議室

出席者 (出席者)関隆雄委員、宮本幸男委員、渡邊一美委員、島津美穂子委員、古谷良太委員、野田安則委員、依田千恵美委員、佐藤太郎委員、中村高弘委員、金子智恵子委員
(欠席者)なし
(事務局)守屋和則健康福祉部長、三村伸彦こども課長、北原潤保育係長
(傍聴者)2名(報道含む)

資料 次第、「“ひろがる笑顔”ゆめ保育所プラン(保育所“笑顔プラン”)」の進行管理について(資料1)

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1. 開会

2. 健康福祉部長あいさつ

3. 議事

(1)「“ひろがる笑顔”ゆめ保育所プラン」の進行管理について」

【事務局より説明】

【委員より】

・子育て支援センターの再編方針はどのようになっているのか。

(事務局:3歳未満児から保育園に行く子どもが増えるなど、現在は、ニーズに対して充足できていると考えているが、地域性も踏まえて検討したい。)

・推進重点地区とした中洲・四賀小学校区にある私立園はどこか。

(事務局:中洲小学校区だと小規模保育のスクルドエンジェル保育園、四賀小学校区だと聖ヨゼフ保育園諏訪がある。)

・サウンディング調査で参入に対して興味を示したところはどのようなところか。

(事務局:市内の保育事業者や株式会社や学校法人等から興味を示していただいた。)

・園の最大規模イメージの設定根拠は

(事務局:昔は定員がもっと多かったが、現在の状況等を踏まえて設定した。)

・中洲小学校区は、中洲保育園ときみいち保育園を併せて最大規模イメージの185名以上いるが、今後少子化が進む想定なのか。希望する園に入れないかなと思う。

(事務局:中洲小学校区は人口減少もゆるやかな地域であるが、民間の力も借りながら、小学校区の保育ニーズを充足していく。)

・きみいち保育園には湖南小学校区のお子さんも入園している。

・2月から(仮称)地区懇談会を行うとのことだが、丁寧な説明をお願いしたい。

・今回の方針案は保育園の特化したものであると思う。前回の委員会でも伝えたが、7月に行ったアンケート調査では、保育園以外の子育て支援施策に関するものもあるので、それに対する行

政の見解を示してもらいたい。

(事務局:検討させてもらいたい。)

・四賀小学校区については今後の概ねのスケジュールが示されているが、中洲小学校区には示されていないので、地区懇談会で何を行政から提示していくのかを教えてください。

(事務局:改めて再編を進めていくことと、民間活力活用についてお伝えしていく予定である。)

・しっかり説明をして納得いただけるような懇談会にしてもらいたい。

・推進重点地区にならなかった小学校区のタイムスケジュールはどのようになるのか。例えば、片羽保育園の長寿命化改修はいつまでに実施するなどを示すべきではないか。

(事務局:集約・再編を進めていく小学校区を推進重点地区としたが、それ以外の小学校区もタイミングとなれば早め早めの周知を行っていく。)

・再編によって新たな建物を作れば良いというものでもない。どういう保育を行っていくのかも考えてもらいたい。近年の夏場の暑さへの対策や園庭を芝生化している園もある。

(事務局:今後のプラン推進で参考させていただく。)

・リズム室が体育館くらいの広さがある園もあるし、紫外線のこともあるし、屋外遊びも考えなければならぬ。

(事務局:時代に対応した設備も必要となってくると考えている。)

・今回再編方針案を提示し、推進重点地区と位置付けたが、プランとの関係はどのようになっているのか。

(事務局:プランの下の具体的な方針であると考えている。)

・最大規模のイメージが185名とのことだが、園を一つ建設するにも大きなお金がかかる。過大投資とならないようにしてもらいたい。建設してもそれを背負っていくのは子どもである。将来的なことを考えて保育園以外にも転用できる様な設計をしてもらっても良いのではないかなと思う。

(事務局:建設する際はその時の状況やトレンドも踏まえながら、そのような要素も含めて考えていきたい。)

・地区懇談会を開催する際には専門委員にも案内をしてほしい。

・園長会でもプランについては都度話をしている。器だけでなく中身も大切。大きな人数の中で個をどう支援していくのか、また、保護者支援などサービスが提供できるか考えている。目指す保育ができるよう市と園が手を携えてやっていきたい。

(事務局:プランに最初から携わっていたものとして話をしたい。40年50年前は人口分布が上諏訪地区にあり、その後の市内での人口移動をどのように考えていくのかが、この話のきっかけである。保護者の選択の幅を広げることや公立保育園の役割(気になる子どもの受入れや災害時の対応など)を整理した。群れて遊ぶ環境が30人以上を適正規模と考え、集団の中での個人の育ちとともに、個人の育ちが集団へ良い影響を及ぼすことから、大きい集団の中で個をどのようにフォローしていくか考えたい。また、子育て支援センターや病児保育は今後の話し合いの中でまとめていきたい。是非、中洲小学校区、四賀小学校区でのプラン推進を進めさせていただきたい。)

4. その他

・諏訪市保育園保護者会連合会との市長懇談会(11月20日開催)結果報告

・令和8年度入所申込状況報告

・次回会議日程 3月24日(火)午前10時を予定。(正式な時間は通知による)

(予定議事等)地区懇談会結果報告、誰でも通園制度認可・確認、子ども・若者計画進行管理

5. 閉会